

# 「原子力の安全と利用を促進する会」

— 行動する原子力 —  
の発足に向けて

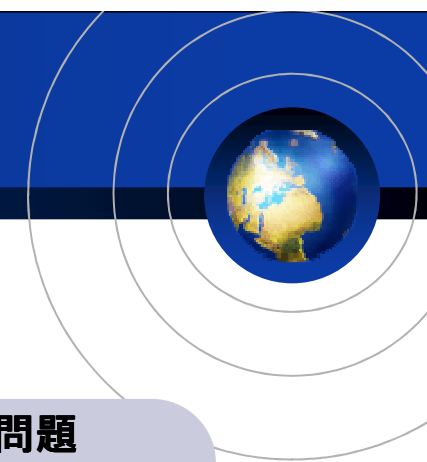


平成25年9月

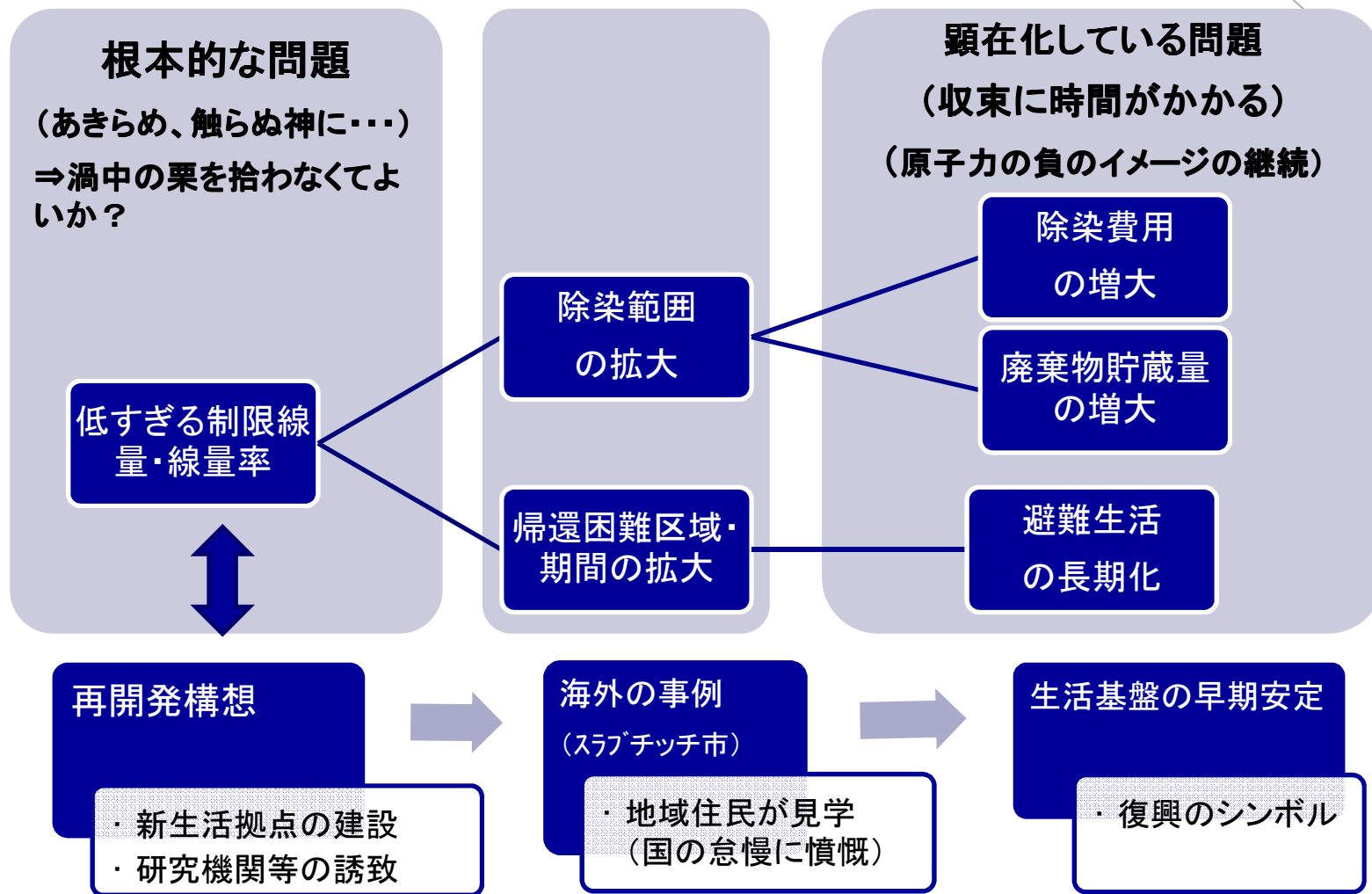
「原子力の安全と利用を促進する会」

準備会幹事 山口篤憲

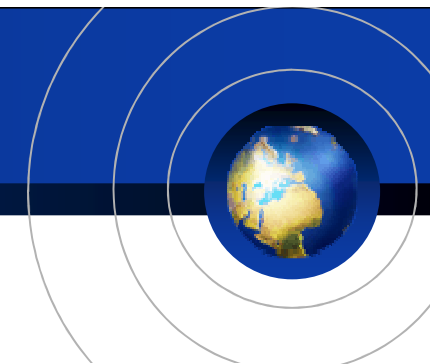
# 私の思い



## ■ 福島への復旧復興が遅々として進まない



# 私の思い



## ■ 原子力規制委員会の無責任な運営

	NRC(フィルターベント)	NRA(敦賀破砕帯)	NRA委員会の問題点
原案作成	作成:NRCスタッフ  産業界からの意見を斟酌 NEI, EPRI, ACRSも意見	作成:有識者会合 (委員の偏り、NRA委員が座長で参加) 事業者の意見・質問を無視  形式だけのピアレビュー	・有識者に丸投げ ・NRA委員が原案作成段階から関与 ・利害関係者の意見を無視 ・科学的合理性のある判断の回避
委員審議	各団体を招いてブリーフィング (NRC委員が均等に議論) 被規制者、研究機関、 市民団体	なし	・委員としての自覚のなさ ・行政官としての自覚のなさ (規制の各界への影響把握)
	連邦議会(上院・下院)が規制内容に関して、NRC委員会へ書簡を送付	衆院「原子力問題調査特別委員会」がNRA委員長を招致。技術的議論はなし	・技術に関する監視機能が必要。
規制案決定	各界の意見を十分に踏まえ、経済性も考慮して決定	委員会で十分な議論もなく、有識者会合の報告を追認	・委員としての責任の放棄

# 私の思い



## ■ 原子力に関する正しい情報の伝達

### ☛ 医師の言動

- 3月12日:ヨウ素除去剤を飲んだほうが良いかな？
- 柏市在住の医師:子供への影響を心配して北九州市へ転居

### ☛ 工学部の学生の意識

慶応義塾大学 工学部 機械工学科 4年

レポート「技術者として原子力にどのように向きあうか」

(平成25年6月10日実施)

	賛成	漸減	反対	検討要	総数
人数(名)	101	5	4	7	117
割合(%)	86.3	4.3	3.4	6.0	100.0

⇒原子力がなくなることによる社会的リスクについては、あまり理解が無かった。

# 「原子力の安全と利用を促進会」の構想



- 背景－3つの「どうしたら良いか」問題と方策
- ねらいと活動方針
- 組織構想
- 促進会の提言活動様式(1)-提言活動
- 今後の予定
- 全国原子力立地市町村商工団体協議会の活動例

# 3つの「どうしたら良いか」問題と方策



1. 福島第一原発事故から放出された放射能による環境汚染の解決策は**どうしたらよいか**？

方策：(1)報道による風評被害の軽減、(2)抜本的復興策の提言

2. 福島第一原発事故以後の原子力の「混迷」の改善に向け、「原子力なくしてこの国は立ち行かぬ」ということを広く国民に理解してもらうには**どうしたらよいか**？

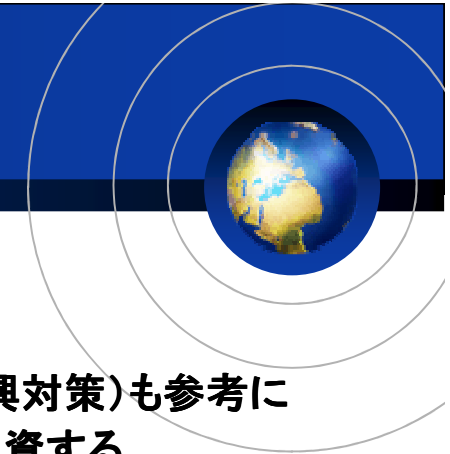
方策：(1)原子力の総合的特性の尊重、(2)民間各層の共同体の形成

3. 原子力政策・規制の「机上の正論」を「現実の問題解決」につなげるには**どうしたらよいか**？

方策：(1)民間の発信力の育成に寄与、(2)リスク概念の適用、  
(3)規制委員会の権威の確立

—「実践しか解決策はない」と考えたい。—

# ねらいと活動方針



## 狙い①:「福島」の復旧復興」

- ・福島第一原発事故の被災者を支え、外国の例(チェルノブイリ事故と復興対策)も参考にし、風評被害の軽減化に繋がる活動を通じて福島の復旧復興の促進に資する。

## 狙い②:「日本経済の再生」

- ・講演会、セミナーや勉強会等を系統的に実施し、原子力の安全性、必要性に関する国民の理解向上に努め、政権党の経済政策に寄与する原子力の運転再開に資する。

## 狙い③:「民間の発信力の育成」(サイレントマジョリティーの意見を積極的に顕在化する)

- ・原子力政策・規制に対する会員の要望をまとめ、国やマスコミなどの関係機関に政策提言等として届ける。

## 狙い④:「商工と技術の橋渡し」

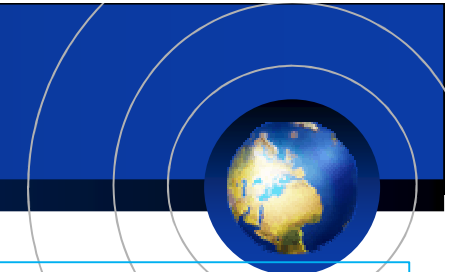
- ・地域別・テーマ別に経済団体、商工業関係者と原子力技術者の意見交換を行い、問題点や諸問題の解決策とその実現方法について共有できる関係の構築に資する。

## 狙い⑤:「規制と産業界の関係の改善」

- ・海外との情報交換を通じ、原子力安全の国際標準に照らし、より一層堅固な安全性の確保と技術力の向上を図り、規制当局・産業界・国民の間の信頼関係の構築に資する。

その他、原子力の「安全と利用」に係わる事項全般に適宜に対応する。

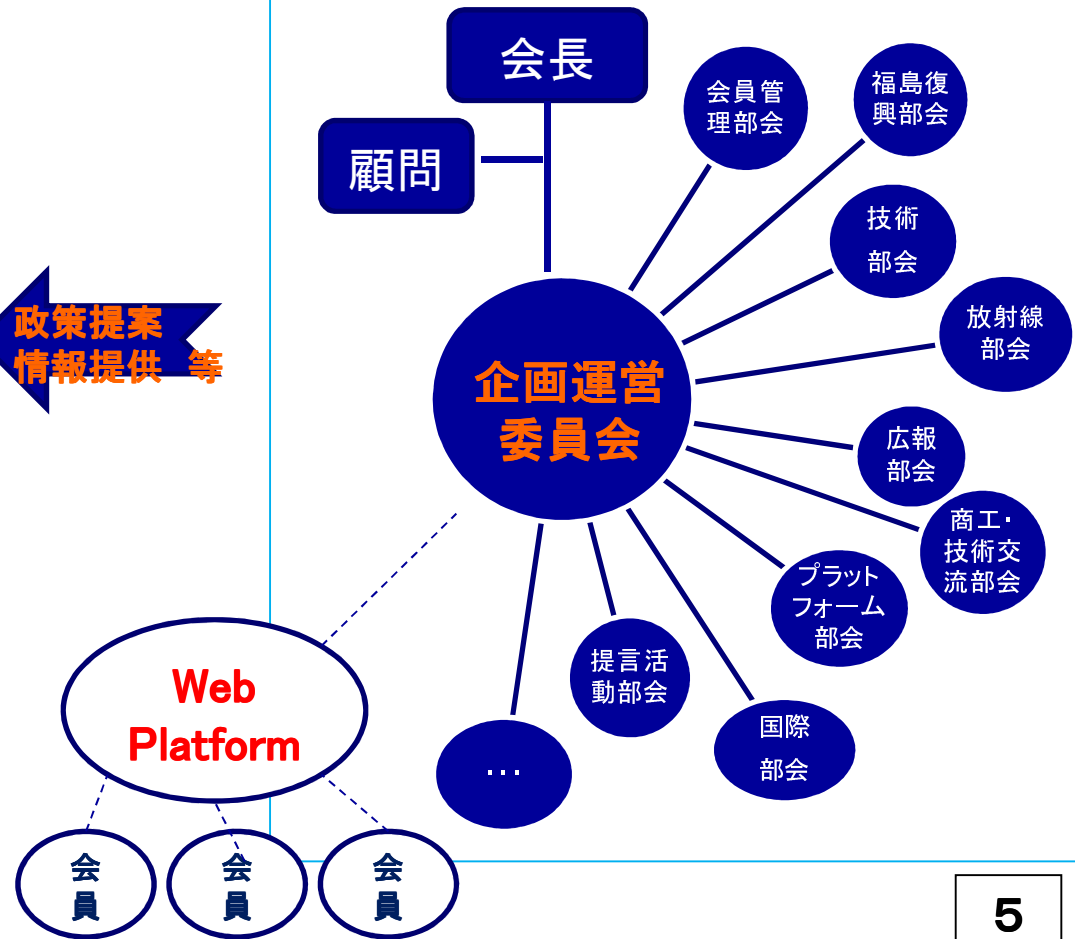
# 組織構想



原子力の安全利用促進・福島  
の復旧復興・経済再生

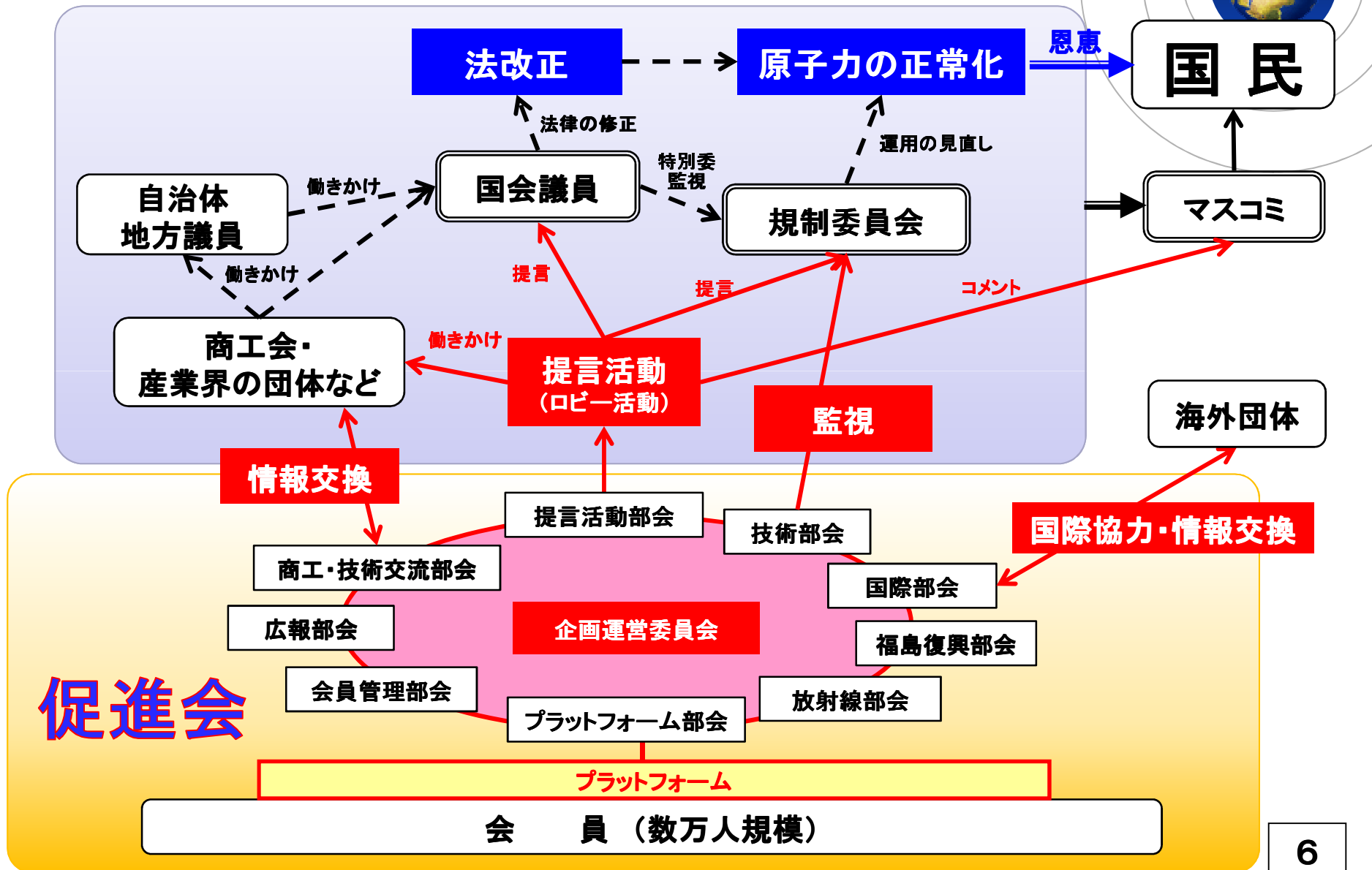
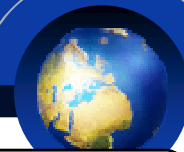


## 「原子力の安全と利用を促進する会」

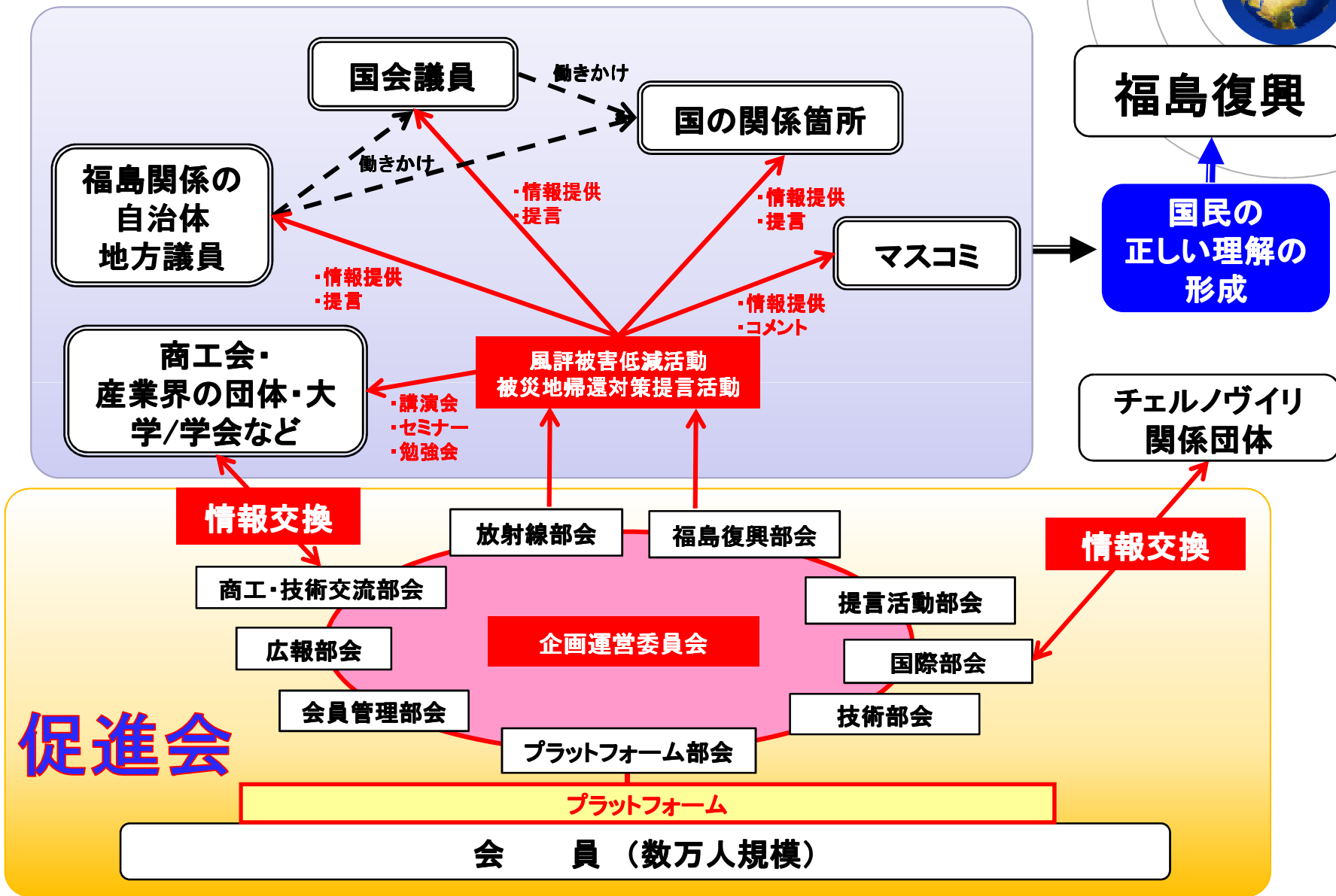




# 促進会の活動様式(1) - 提言活動



# 促進会の活動様式(2) - 福島復興支援



# 「促進会」の運営構想



WEBプラットフォームを設け交流の輪を形成し易くし、“原子力価値”を広く国民に理解してもらう新しい仕組みを作る。以て、規制の正常化に貢献し原子力の正常化に資する。

## 促進会の3本柱

### 「促進会」

(Key Word)

原子力をメインテーマとして、  
「技術・人材・情報」  
の自律的な交流の場を設け、原子力安全技術と利用技術を促進することを旨とする

#### 1 技術・商工の交流

- ✓ 会員が持つ技術・技量をプラットフォーム上で交流し価値を創造
- ✓ 幅広い意見・情報交換の場の活用による改革の促進

#### 2 人材交流

- ✓ 「技量を活用されたい人」と「活用したい人」の交流（雇用の促進）
- ✓ 「技術を活用したい人」の交流と行動計画支援（新価値の創造）

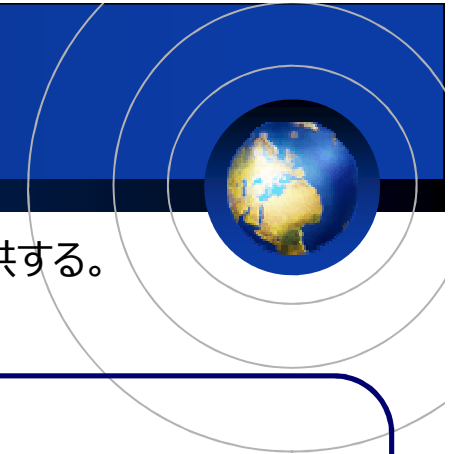
#### 3 情報発信・提言

- ✓ 「場」における統合化情報の提供と社会・行政・規制へ発信
- ✓ 国会・自治体・マスコミに対する提言活動の実践（ロビー活動）

### Key Concepts

- 技術・人材の交流の場を国内に創設し、将来国際展開を図る
- 参加者によって運営される自律的なネットワークが発展していく仕組みを構築する（技・商交流）
- 安全な原子力技術によるメリットをWEBプラットフォームを通じ国内及び国外で共有する

# 「促進会」が提供するサービス



- 「促進会」は原子力分野を中核に建設的な交流の「場（プラットフォーム）」を提供する。
- Webプラットフォームを通じて自律的に成長する「場」を形成し国際展開を図る。

## 促進会が提供するサービス

### 1 技術・商工交流

### 2 人材交流

### 3 情報発信・提言

#### ① 会員データベース（プロフィール・経歴・専門分野・実績等の管理）

- ✓ 会員同士が互いのプロフィール・専門領域を公開し相互にデータアクセスが可能
- ✓ 自分の得意分野で他者と協力関係を構築することで会員同士のネットワークが広がる
- ✓ 豊富な経験や知識を持った人材がそれを広く再活用する場にもなる
- ✓ 技術と商工の交流に挑戦する

### WEB Platform

#### -情報のストックとシェア-

- ✓ 会員情報のストック
- ✓ 原子力行政への活動実績のストック
- ✓ 技術・ノウハウ情報のストック
- ✓ 世界の規制関連情報のストック、等々

#### ② 人材交流（ネットワーク）の場

- ✓ 会員同士が自律的にコンタクトを取合って新規プロジェクトの立上げ・推進（共同研究など）
- ✓ 原子力イベント・集会・プロジェクト管理の提供

#### ③ 原子力技術・規制技術の高度化の場

- ✓ 技術・ノウハウやストック情報を広く社会に提供するための仕組み
- ✓ 原子力技術・規制技術を高度化する場の構築により原子力の正常化を目指す

# 今後の予定



## 賛同者の募集

- ・原子力の必要性に賛同していただける方々
- ・電力消費地の経済団体
- ・全国原子力立地市町村商工団体協議会/商工会
- ・各原子力立地地域共生組織 等

## 発足(一般社団法人)

(平成25年10月末予定)

- ・福島への復旧復興支援
- ・日本経済の再生
- ・発信力の育成
- ・商工と技術の橋渡し
- ・規制と産業界の関係の改善 等

## 当面の課題

- ・福島への復旧復興支援
- ・早期の再稼働支援
- ・破砕帯評価問題
- ・40年制限問題
- ・ ..... 等

# 全国原子力立地市町村商工団体協議会



## 原子力発電所の**安全性確保**と**早期再稼働**及び稼働停止に伴う**経済振興**に関する決議

平成25年5月27日

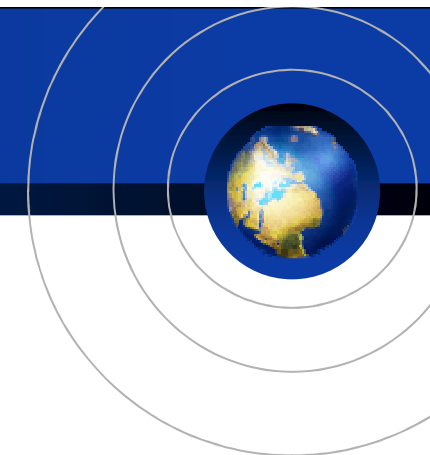
1. …**被災地**の1日も早い**復旧復興**、**住民の帰還**に向け、一層迅速かつ柔軟な対応を実施すること。
2. …国においては、新たな安全基準に基づき**原子力発電所の安全性**を速やかに**審査**するとともに、安全性が確認された原子力発電所については、**立地地域住民へ丁寧**に説明を行ったうえで、**早期に再稼働**させること。
3. …**地域経済を活性化**させるため、…**経済振興**、**雇用確保**に向けた特別な施策を講ずること
4. **活断層**の存在とそれに伴う影響については、…**周辺の道路等のインフラ整備**にも及ぶ**重要課題**である。この存在については**総合的な見地から慎重な判断**を求める。
5. …**新たなエネルギー政策**の推進に当たり、**電源立地地域への支援**としての**各種施策**を優先的・重点的に講ずること。

平成25年度協議会役員

会 長:川内商工会議所 田中会頭

副会長:敦賀商工会議所 有馬会頭、柏崎商工会議所 西川会頭、双葉町商工会 田中会長

# 発起人名簿



- 有馬朗人(元文部大臣、元東京大学総長)
- 今井 敬(日本経団連名誉会長、新日鉄住金名誉会長)
- 石川迪夫(元北海道大学教授)
- 茅 陽一(RITE理事長、東京大学名誉教授)
- 宮崎慶次(大阪大学名誉教授)
- 葛西敬之(JR東海会長)  
坂根正弘(小松製作所相談役、日本経団連副会長)
- 秋元勇巳(元三菱マテリアル会長)
- 後藤 茂(元衆議院議員)
- 中村政雄(元読売新聞論説委員)
- 木元教子(元ニュースキャスター、評論家)  
田中憲夫(川内商工会議所会頭、全原商会長)
- 有馬義一(敦賀商工会議所会頭、全原商副会長)
- 西川正男(柏崎商工会議所会頭、全原商副会長)  
田中清一郎(双葉町商工会会長、全原商副会長)
- 宮 健三(日本保全学会会長、東京大学名誉教授)

○:承諾いただいた方(平成25年9月18日現在)